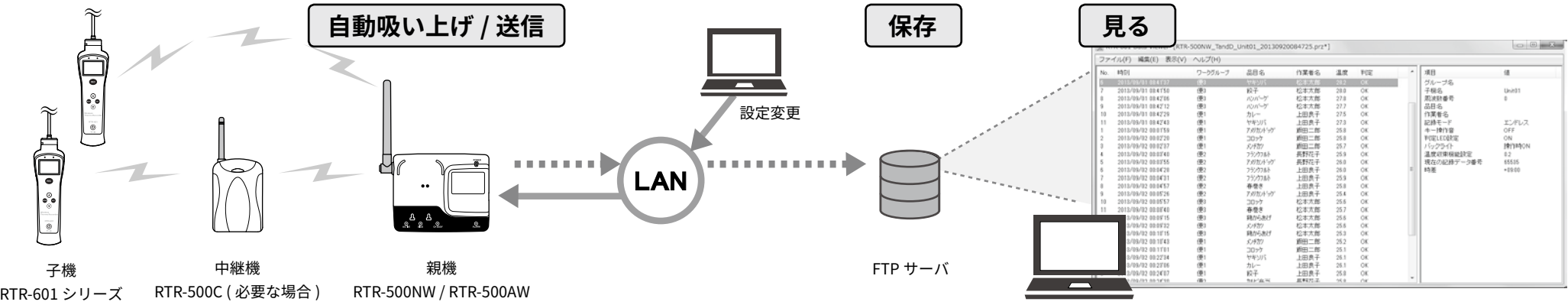


RTR-500NW / RTR-500AW 基本ガイド

RTR-601 シリーズを使用するために

RTR-500NW / RTR-500AW でできること

RTR-500NW / RTR-500AW は LAN 通信機能を搭載している親機です。定期的の子機 (RTR-601 シリーズ) 内の記録データを吸い上げて、FTP サーバへ送信します。サーバに保存された記録データはパソコンでいつでも閲覧できます。



本製品で用いられる用語について

親機	RTR-500NW、RTR-500AW
子機	RTR-601 シリーズ (RTR-601-110 / 601-130 / 601-E10 / 601-E30) 本書では RTR-601 シリーズを総称して "RTR-601" と記載している箇所があります。
中継機	RTR-500C
記録データ	子機に記録されている測定値

準備をしよう

ソフトウェアをインストールする前に親機をパソコンに接続しないでください

STEP 1 RTR-500W for Windows をインストールする

- Windows を起動し、Administrator (管理者) 権限でログインします。
- 付属の CD-ROM を CD/DVD ドライブにセットします。
- [インストールプログラム] ウィンドウが開きます。

[自動再生] ウィンドウが表示された場合

[start.exe の実行] をクリックしてください。

[インストールプログラム] ウィンドウが自動で表示されない場合

CD/DVD ドライブ内の [start.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

- "RTR-500W for Windows のインストール" を選択し、[実行] ボタンをクリックしてください。



- 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールしてください。

インストールの途中で、以下のような画面が表示された場合、[インストール] ボタンをクリックしてください。



- インストールの完了後、Windows のスタートメニューに "RTR-500W for Windows" が登録されます。

STEP 2 RTR-500W for Windows (for RTR-601) をインストールする

- T&D の Web サイトから "RTR-500W for Windows (for RTR-601)" をダウンロードして、インストールしてください。
 - HOME > サポート > ソフトウェア
- インストールの完了後、Windows のスタートメニューに [RTR-500W for Windows] と [RTR-500W for Windows (for RTR-601)] の 2 つが登録されます。

使い始める前に

子機は USB 通信による設定 / 登録をする時、充電する時以外はバッテリーチャージドックから外してください。ノイズにより無線通信ができない場合があります。

STEP 1 [RTR-500W for Windows] で親機の初期設定をする

■基本的な設定をする

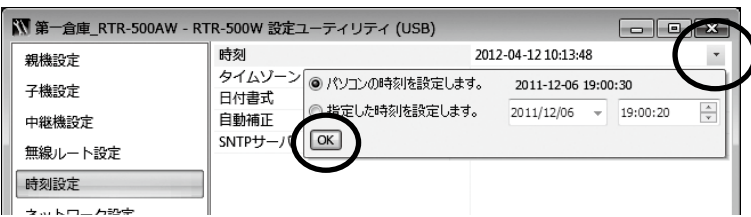
- RTR-500W 設定ユーティリティの設定画面で [親機設定] をクリックします。
- [親機設定] 画面で次の情報を入力し、[適用] ボタンをクリックします。

親機名	親機を識別するための名前を入力します
LAN パスワード	ネットワーク経由で親機に接続する際のパスワードを入力します。



- 設定画面で [時刻設定] をクリックします。

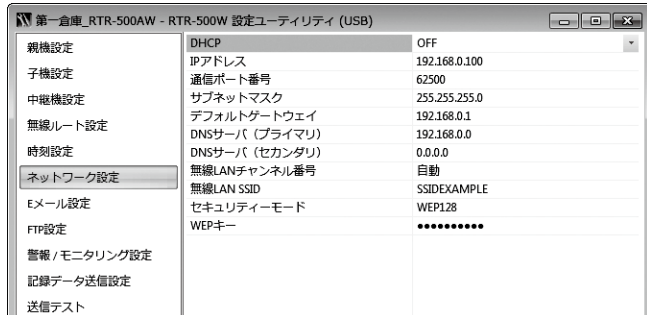
- [時刻設定] 画面で時刻欄をクリックし、親機の時刻を設定します。入力内容を確認して [適用] ボタンをクリックします。



■ネットワークに関する設定をする

- 設定画面で [ネットワーク設定] をクリックします。
- DHCP の設定をします。
通常は設定を変更する必要はありません。社内ネットワークなどのように IP アドレスを固定して利用したい場合は、[DHCP] を [OFF] にして IP アドレス等を設定します。
- (RTR-500AW のみ) ご利用の無線 LAN アクセスポイントの設定値にあわせて設定します。

* RTR-500AW の MAC アドレスは [設定一覧] - [親機設定] - [MAC アドレス] で確認することができます。

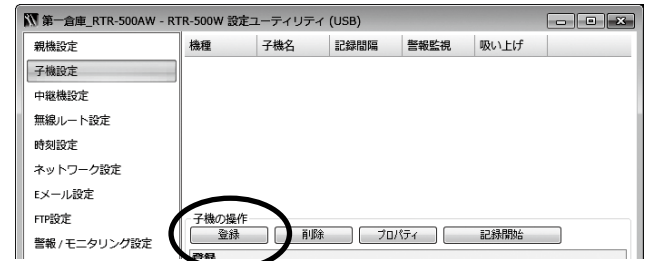


- [適用] ボタンをクリックします。

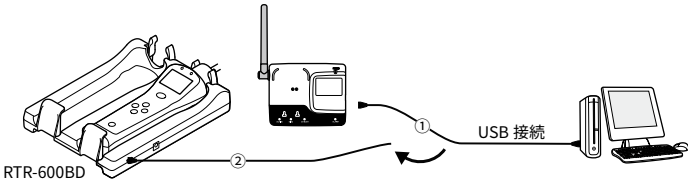
RTR-500NW / RTR-500AW の初期設定値	
親機名	RTR-500NW_ <シリアル番号> または RTR-500AW_ <シリアル番号>
LAN パスワード	password
ネットワーク設定	DHCP: ON
通信ポート番号	62500

STEP 2 [RTR-500W for Windows] で子機登録をする

- RTR-500W 設定ユーティリティ設定画面で [子機設定] をクリックします。手元に子機を準備し [登録] ボタンをクリックします。



- 画面の指示に従って操作し、[子機を接続してください] と表示されたら親機側の USB (①) をバッテリーチャージドック* に差し替えて子機を載せてください (②)。



* 別売のバッテリーチャージドック (RTR-600BD) が必要です。

子機を接続しても画面が変わらない場合

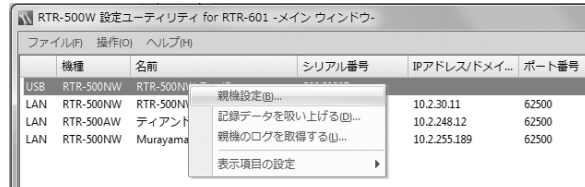
USB ドライバのインストールに失敗している可能性があります。[ヘルプとサポート] - [機器を認識しないときは] をご覧になり、USB ドライバの確認をしてください。

- [子機登録] 画面で子機を識別するための "子機名" を入力し、[登録] ボタンをクリックします。
- 登録が終わったら親機に USB を差し直してください。
- 複数の子機を登録する場合は、手順 1. から繰り返してください。

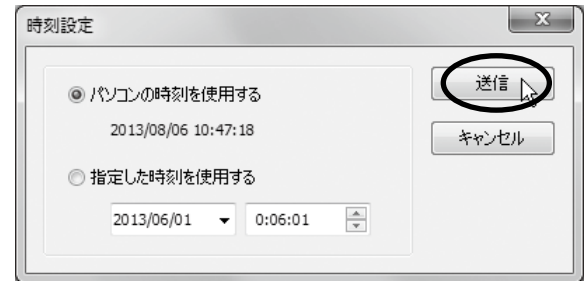
STEP 3 [RTR-500W for Windows (for RTR-601)] で子機の設定をする

■時刻設定と動作設定をする

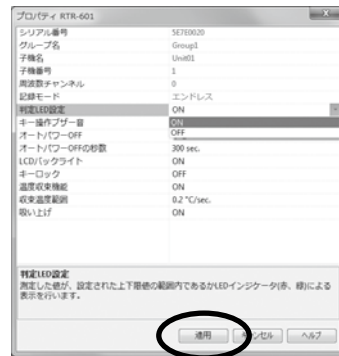
- スタート画面またはスタートメニューより [RTR-500W for Windows (for RTR-601)] - [RTR-500W 設定ユーティリティ for RTR-601] を起動します。
- メインウィンドウの機種一覧から親機を右クリックし、ポップアップメニューより [親機設定] を選択します。



- [子機設定] 画面の機種一覧から子機を選択し、[時刻設定] ボタンをクリックします。時刻設定を行ってください。



- [子機設定] 画面の機種一覧から子機を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。下記の画面で子機の動作設定・変更を行い、[適用] ボタンをクリックしてください。



[吸い上げ] の項目を ON にすると、親機が定期的に子機内の記録データを吸い上げ、FTP/E-mail で送信することができます。

- 複数の子機を登録したい場合は、手順 3. から繰り返してください。

ここまでの設定で親機を実際の位置に配置し、記録開始ができます。子機の登録内容は、後から LAN 経由で変更・追加できます。

STEP 4 親機を設置をする

親機をパソコンに接続している場合は、USB ケーブルを外してください。

- (RTR-500NW のみ) 親機に LAN ケーブルを接続します。
- 親機に付属の AC アダプタを接続します。
- 電波強度を確認しながら子機を配置します。
無線通信できる距離は障害物のない見通しのよい直線距離で約 50m です。

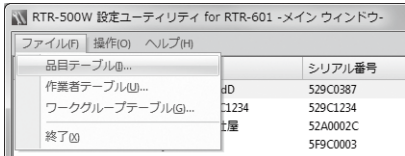
・電波強度を確認する 방법은、裏面の [Tips 親機と子機間の電波強度を確認する方法] をご覧ください。
・中継機を増設することで障害物を迂回したり、無線通信距離を延ばすことができます。詳しくは、裏面の [Tips 中継機を使って無線通信距離を延ばす方法] をご覧ください。

LAN で使ってみよう RTR-500W for Windows (for RTR-601)

△ 子機をバッテリーチャージドックから外してください。

■品目テーブル / 作業者テーブルを作成する

1. スタート画面またはスタートメニューより
[RTR-500W for Windows (for RTR-601)] - [RTR-500W 設定ユーティリティ for RTR-601] を起動します。
2. メインウィンドウより [ファイル] - [品目テーブル]、または [作業者テーブル] を開きます。



品目テーブル	測定対象を品目テーブルにまとめて登録できます。上限値 / 下限値も品目テーブル上で設定します。 1 テーブルに 63 個まで登録できます。
作業者テーブル	測定する担当者を作業者テーブルにまとめて登録できます。 1 テーブルに 62 名まで登録できます。

3. 左枠の中でマウスを右クリックし、ポップアップメニューより [テーブル挿入] を選択します。



4. 右枠のリスト上で右クリックし、ポップアップメニューより挿入・削除の編集ができます。
上下限値が不要な場合はそのままの値にしてください。



5. [保存] ボタンをクリックしてください。

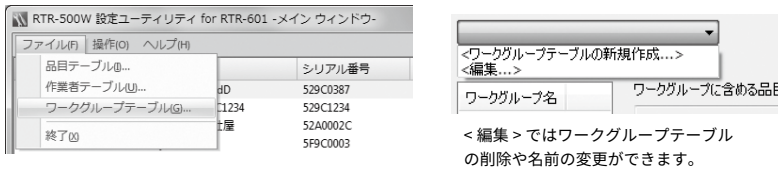
- ・誤ってテーブルを削除してしまった場合は、保存をせずに画面を閉じると、最後に保存した状態でこの画面を開くことができます。
- ・[保存] ボタンは子機にデータを送信するものではありません。

6. 作業者テーブルも同様の手順で作成します。

■ワークグループテーブルを作成し、子機に送信する

先に登録・保存した品目 / 作業者テーブルから、業務プロセスに応じたワークグループを作成することができます。

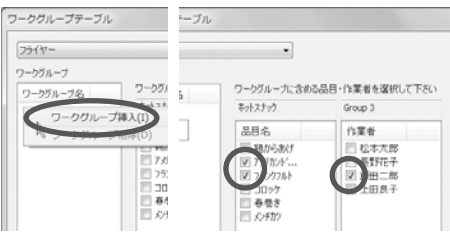
1. メインウィンドウより [ファイル] - [ワークグループテーブル] を開きます。



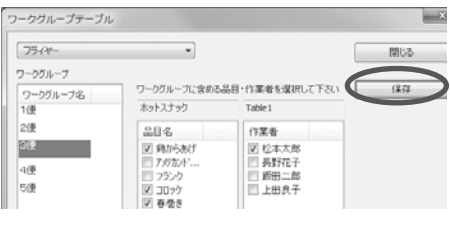
2. ワークグループテーブルの名称を入力し、登録済みの品目 / 作業者テーブルを選択します。
[OK] ボタンをクリックします。



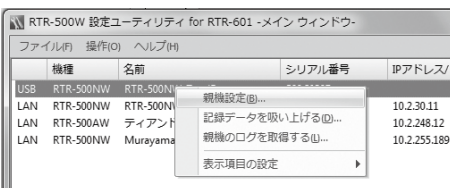
3. 左枠内の中でマウスを右クリックし、[ワークグループ挿入] を選択します (複数挿入可)。
[品目名] [作業者] のチェックボックスにチェックを入れます。



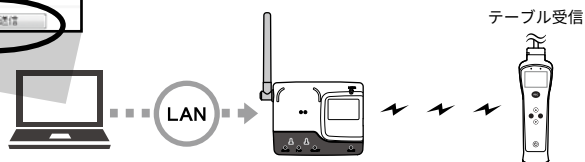
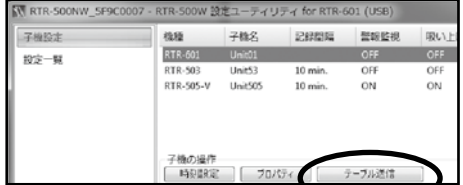
4. すべてのワークグループを作成したら [保存] ボタンをクリックし、現在の状態を保存します。



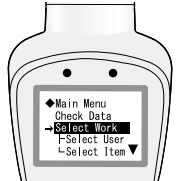
5. メインウィンドウの機種一覧から親機を右クリックし、ポップアップメニューより [親機設定] を選択します。



6. [子機設定] 画面の機種一覧から子機を選択し、[テーブル送信] ボタンをクリックします。



子機側で品目 / 作業者を選択する方法



MENU ボタン - [ワーク選択] - [作業者選択] / [品目選択]

- ・子機側で測定する品目 / 作業者を選択する際に、ワークグループを選択すると、ワークグループに登録されている品目 / 作業者を表示ようになります。

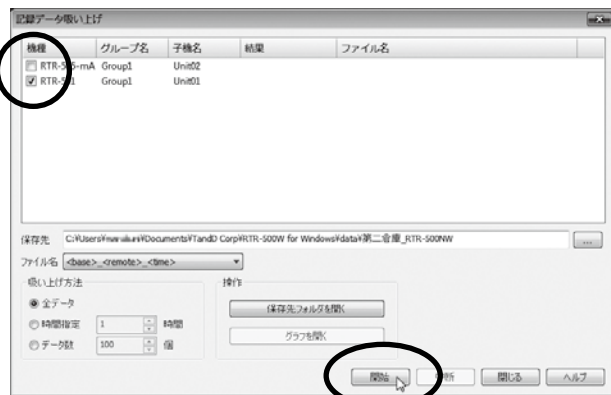
■手動で記録データを吸い上げる

1. メインウィンドウより [操作] - [ネットワーク検索] をクリックします。
しばらくすると設定した親機が表示されます。
2. 接続対象の親機を右クリックし、ポップアップメニューより [記録データ吸い上げ] を選択します。
LAN パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。



3. [記録データ吸い上げ] ウィンドウが表示されます。
吸い上げ対象の子機にチェックを入れ、[開始] ボタンをクリックすると吸い上げが開始されます。

- ・子機にデータが 1 個以上記録されている必要があります。



4. [保存先] で指定したフォルダに記録データのファイルが作成されます。

■記録データを表示する - DataViewer

親機が FTP / E-mail で送信したデータ、および手動でパソコンに吸い上げたデータは [.prz] という拡張子ファイルで保存されます。このデータを参照するには、DataViewer を使用してください。

記録データの保存場所

デフォルトの場合、ドキュメント内にフォルダを生成し、その中に保存されます。

保存場所 (例)

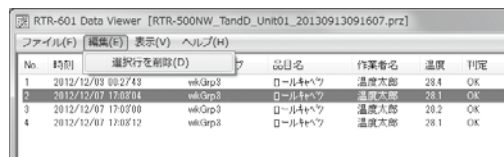
C:\Users\ (ログオンユーザ名) \Documents\TandD Corp\RTR-500W Settings Uty for RTR-601

1. スタート画面またはスタートメニューより
[RTR-500W for Windows (for RTR-601)] - [DataViewer] を起動します。
2. [ファイル] - [開く] で保存場所からファイルを指定してデータを開きます。



データを削除する

[Shift]、[Ctrl] キーを使って不要なデータを選択し、[編集] メニューより [選択行を削除] を選択してください。



データを追加読み込みする

記録データを開いた状態で、他のデータを開くと追加読み込みができるので、複数のデータファイルを 1 つにまとめることができます。別名保存する場合は、[.puw] という拡張子のファイルになります。

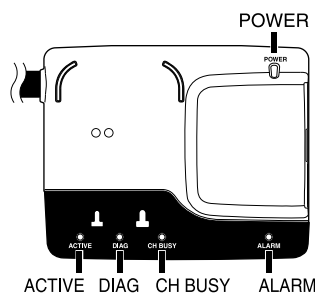
データをテキスト形式で保存する

記録データを市販の表計算ソフト等で読み込み可能な形式 (テキスト ファイル) に変換できます。記録データを開いた状態で [ファイル] メニューより [データをテキスト形式で保存] を選択します。

- ・別名で保存する場合は、[.txt] という拡張子のファイルになります。

- ・[.puw] は DataViewer で読み込みできますが、[.txt] は読み込みできません。

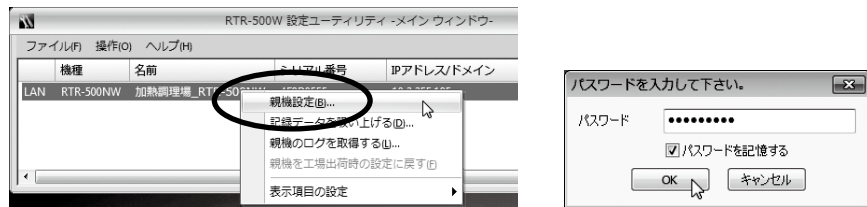
Tips 親機の LED 表示について



LED の状態	説明
●点灯 ●点滅 ○消灯	
ACTIVE	・ ネットワーク通信可 ・ USB 接続中
ACTIVE	・ ネットワーク通信中 (子機との無線通信) ・ USB 通信中
DIAG	・ 電源投入後の初期化中 ・ FTP 送信または E メール送信が失敗 ・ 時刻設定が行われていない ・ 停電などにより時刻設定がリセットされている ・ 子機登録がされていない ・ FTP 設定、E メール設定が正しく設定されていない ・ モニタリング等の自律動作がなにも設定されていない
ACTIVE DIAG	・ 無線 LAN アクセスポイントとの接続に失敗 (RTR-500AW のみ) ・ DHCP サーバーから IP アドレスを取得できない
CH BUSY	・ 指定無線周波数チャンネルが他の電波により使用されている ・ 親機周辺に存在する電子機器が発生するノイズの影響により無線通信に失敗している
ALARM	・ 測定値が上下限を超えている ・ 子機無線エラーが発生している ・ 接点入力 ON の状態 ・ 子機に問題がある (電池残量の低下、センサの接触不良など)

Tips 親機と子機間の電波強度を確認する方法

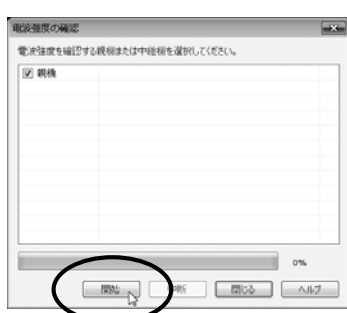
1. RTR-500W for Windows の RTR-500W 設定ユーティリティを起動します。
2. [操作] メニューの [ネットワーク検索] をクリックします。
しばらくすると **使い始める前に** の ① で設定した親機が表示されます。
3. 接続対象の親機を右クリックして、ポップアップメニューより [親機設定] を選択します。
LAN パスワードを入力して [OK] をクリックします。



4. [無線ルート設定] を開き、[電波強度の確認] をクリックします。



5. [開始] をクリックすると電波強度の確認を開始します。
完了したら [閉じる] をクリックすると結果が表示されます。



通信が可能です。	
通信が安定しない可能性があります。エラーが頻発する場合は、子機の設置位置を変更するか、中継機 (RTR-500C) を追加してください。	
アンテナのマークが何も表示されないのは通信エラーです。上記と同様に、子機の設置位置を変更するか、中継機 (RTR-500C) を追加してください。	

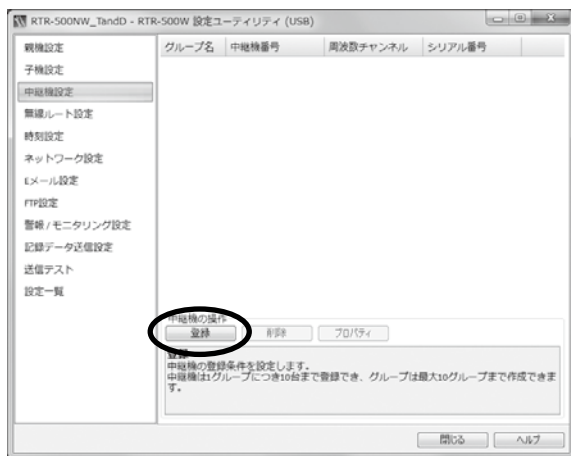
- ・電波強度の確認の詳細は [操作ガイド] - [便利な機能] - [電波強度を確認する] をご覧ください。

Tips 中継機を使って無線通信距離を延ばす方法

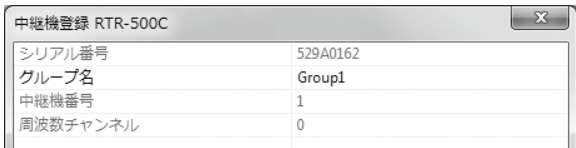
無線通信距離を延長する場合や、電波強度が不足している場合には中継機 (RTR-500C) を追加し無線ルートの設定をします。

■中継機を追加する

1. RTR-500W 設定ユーティリティの設定画面より、[中継機設定メニュー] を開きます。
2. [登録] ボタンをクリックします。
画面の指示に従って RTR-500C をパソコンに USB 接続します。



- ・初めて接続する場合、自動で USB ドライバのインストールが始まります。
- 3. [中継機登録] 画面が表示されますので、グループ名を指定し、名前を変更することができます。



4. 入力が完了したら [登録] ボタンをクリックします。
設定が中継機に送信され、中継機登録一覧に登録した中継機が表示されます。

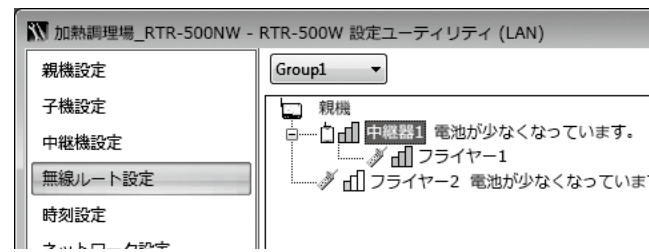


5. 実際に使用する場所に子機、中継機を設置します。
6. [無線ルート設定] メニューを選択し、親機・子機との無線通信ルートを確認します。
電波強度の確認を行い、親機・子機・中継機の通信が可能を確認します。

■無線ルートの設定

登録した子機・中継機の設置場所や電波強度を参考に無線通信のルートを変更することができます。

1. RTR-500W 設定ユーティリティの設定画面より、[無線ルート設定] メニューを開きます。
2. 子機・中継機のアイコンをドラッグアンドドロップし、無線ルートを変更します。



3. [適用] ボタンをクリックします。
電波強度の確認を行い、親機・子機・中継機の電波強度の状態を確認します。

- ・同時に複数台の中継機 (RTR-500C) をパソコンに接続しないでください。
- ・無線ルートの変更後は必ず電波強度の確認を行ってください。
- ・子機・中継機を別のグループの無線ルートへ移動することはできません。他のグループへ移動させたい場合は、機器を一度初期化または削除し別グループへ登録しなおす必要があります。
- ・詳細は [操作ガイド] - [便利な機能] - [無線通信距離を延ばす] をご覧ください。

？ 親機の設定で困ったとき・詳細情報

機器を認識しないときは：

使い始める前に の ② で子機を接続しても画面が変わらない場合は USB デバイスドライバのインストール、確認方法を詳しく記載しています。

アップデート情報：

ソフトウェアとファームウェアのアップデート情報を確認できます。

ユーザ登録・サポート：

弊社 Web サイトが開き、ユーザ登録やサポートを受けることができます。

